

令和5年度 日南町立日南中学校 経営方針

1 こども園（学校）経営の基本理念

① 人権教育・特別支援教育の実践

② コミュニティ・スクールと「日南学」

- (1) 「子どもの権利条約」の4つの原則「命を守られ成長できること」、「子どもにとって最もよいこと」、「意見を表明し参加できること」、「差別のないこと」を尊重し、すべての子どもの人権を第1に考えた保育・教育を積み重ねていきます。
- (2) 「日南町園・学校運営協議会」の設置により、各園・学校に保護者や地域住民が参画することを通して、「地域とともにある学校づくり」を行い、日南町ならではの創意工夫された特色ある園・学校づくりを推進していきます。
- (3) 「日南町の子どもの教育在り方検討会答申」の具現化に向け、「持続可能なふるさと日南」を創る1歳からのカリキュラムの在り方を検討し、1歳から18歳までの教育内容の充実に向けた「オール日南」の協働的な教育環境を整えていきます。
- (4) 「日南町こども園・小学校・中学校一貫教育（学び舎にちなん）」を実践し、組織的に「学び続ける力」「関わり合う力」「ふるさとを愛する心」の育成をめざし、各発達段階に応じて、意図的・計画的で科学的根拠のある教育実践を園・学校と家庭・地域が協働して展開していきます。

③ 3つの力と3部会

年間計画とデータ（学教評価、標準学テ、iチェック）共有

2 日南町教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、
持続可能な未来を創造する優れた人材を育成する」

3 校（園）訓

『生き抜く力』

～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむな汗を ～

4 本（園）校の教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

「主体性」協同性を持った

5 めざす（園）学校像

- (1) 夢や目標に向かって努力し、お互いの人権を尊重し、仲間と協働できる子ども
- (2) 子どもの成長を園・学校と連携をとりながら、一緒に見守り支える保護者
- (3) 地域全体で日南の子どもの成長に関わる地域住民
- (4) 教師としての誇りを持ち、新たな理念・方法に自ら研鑽を積む教職員

協同学習の理念とICT

日南中学校

6 めざす生徒像（主体、共創）

- * 学び続ける力・・・自ら考え、判断し、努力を続け、可能性を伸ばす生徒
- * 関わり合う力・・・違いを理解し、他者を尊重し、共に新たな価値づくりや解決に向かう生徒
- * ふるさとを愛する心・・・ふるさとや自分の将来に向け、主体的に取り組む生徒

7 めざす教職員像

- (1) 強みを活かし合い、弱みを補い合い協働する教職員
- (2) 子どもの可能性を信じ、最後まで粘り強く見守り、支援、指導ができる教職員
- (3) カウンセリングマインドで対話をし、子どもや保護者、地域の願いを受け止める教職員

8 経営のテーマ

『 チームで動く 』

皆が報告・連絡・相談、チーム協議を実践し、生徒一人ひとりに対し情報共有、共通実践する。

※学年団で状況分析・協議→主任会で報告・協議→学年団あるいは学校全体で一手
↓ 各種対策委員会 ↑

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

・園小中一貫教育を推進（理念の見える化と共有、園小中の特性や発達段階を生かし、子どもの学びや育ちの継続性や系統性を持った実践を行う）し、日南町の将来・未来を担って生きる人材の育成を目指します。

（重点事項1）

○関わり合う力の育成

- ・計画的なグループワークトレーニングや人権学習により、対話を重ね、人はみな違うことを理解し、よさや弱さを認め合ったり、自分が安心して出せたり（分からない、困った、どうした？と言える）できる仲間づくりを行う。
- ・生徒が主体的に行事・活動を行い、自分の役割を持ったり、達成感や感動を共有し合ったりして、一人ひとりの自己有用感、自己肯定感を高める。
- ・地域の人と様々な活動を共にし、思い・願いを知ったり、人に認められたりする経験を積み、自尊感情を高める。
- ・生徒一人ひとり、教員一人ひとりに寄り添える教職員チーム
→ 生徒も教員も安心感、やりがい、充実感をもて、自他を大切にする集団

- ・日々の生活の中で、人権尊重の精神と行動が生かされる指導や支援を継続して行い、いじめ等の未然防止、早期発見、迅速対応を行う。

（重点事項２）

○学び続ける力

- ・協同学習の理念を基に、授業づくりの１０のポイントを全職員で実践し、生徒全員が「わかった」「できた」と実感できる授業改善を進める。教員はお互いの授業を開き、皆が見合い、学び合う。
- ・放課後補習では「今日の家庭学習のテーマ」を設定し、取り組み始め、続きは家庭で行う。タブレット持ち帰りで自分に適した課題を繰り返し行い基礎・基本の徹底と学習意欲の高揚に繋げ、レベルを上げた課題設定も行う。
- ・各教科でタブレットを活用した学習の工夫を積極的に行い、個の学力に対応した効果的活用を行う。
- ・学び合いで学習の理解や基礎・基本の定着ができない生徒に対しては、個別に読み書きや計算などの力を実態把握し、受診や放課後の補習やカウンセリングで細かく対応していく。

（重点事項３）

○ふるさとを愛する心

- ・ふるさとキャリア教育（日南学）では、各学年の題材のねらいをしっかりと押さえた上で計画・実践する。実践は記録し、次年度へ引き継ぐ。
- ・地域の人のお話や対話、フィールドワーク、調べ学習により、ふるさとの良さや課題に目を向け、主体的に自分とまちの未来を考え、解決に向けて取り組む力を育成する。
- ・地域での中学生の存在を生かした活動を積極的に行うと共に、情報発信を行い、行事の計画も「地域への貢献」を意識して行う。